

拓たる 西別院だより

謹賀新年号



修復後の正門から臨む本堂

年末年始の法要と行事

- | | | |
|------------|------------------------|----------------|
| ○除夜会 | 12月31日(土) 15時 | 於 本堂 |
| ○除夜の鐘 | 12月31日(土) 23時50分 | 於 鐘楼堂 |
| ○元旦会 | 1月1日(日) 6時30分 | 引き続き御流盃の儀 於 本堂 |
| ○宗祖聖人御祥月法要 | 1月15日(日)・16日(月) 13時30分 | 於 本堂 |
| ○新年交礼会 | 1月16日(月) 16時 会費 2,000円 | 於 ホール |

1月10日までに別院へ電話でお申し込み下さい。TEL 22-0744

12月29日(木)より1月6日(金)まで月忌参詣をお休みさせていただきます。

ご門主様ご親修

本堂修復落成慶讃法要
親鸞聖人750回大遠忌御待受法要(仮称)

平成18年10月10日(火)

年頭の辞

「おかげさま」のこころ



輪番 岩間 行則

新しい年の初めにあたり、ご挨拶申し上げます。

お念仏とともに、一時ひとときを大切に過ごさせていただきます。

今年も、私達の念願でありました本堂その他の修復がおかげさまで完了いたしましたし、その慶讃法要を西本願寺ご門主様をお迎えして勤修させていただきます。

お釈迦さまは、この世のしくみは、すべて「縁起の法」に従って成り立ち、自分の力で独立して存在するものは一つもなく、お互いに関わりあって存在していると教えて下さいました。

私たちは仕事が大切・友人が大切、親せきが大事といひながら頑張っているけれど、本当

はみんな自分が大切だからではないだろうか。又、私の信念・信条はと主張している人も、自分の利害が底にあるのではないだろうか。

「縁起の法」をいただくとき、私ひとりの力で生きているのではなく「生かされている私」と気づかされることあります。

私たちの先輩達は、生かされて生きているよろこびを「おかげさま」と表現されてきました。

「かげ」とは、私の気づかないところ・見えないところで私を生かしているもの、そのかげに「お」と「さま」という敬語を付けた言葉です。

この大切な、あたたかい言葉が、最近私たちの口から消えているように思います。おかげさまでなく「あたりまえ」の世界は物を捨て・親を捨て、仏法まで捨ててしまいます。手を合わす心も、仏法を聴聞する心も生まれてきません。私たちは親鸞聖人のみ教えを仰ぐ浄土真宗の門徒です。

「どんなことがあるとも、けっしてあなたをすてることはありません」とはたらいて下さっている阿弥陀様とともに、おかげさまを大切に力強く生きていきたいものです。

二〇〇六年（平成十八年）
年忌表

法要についてのお願い

●法要をご予定の際には、日取りを事前に別院とご相談の上、お決めくださいますようお願い致します。

●別院にて年忌法要を、おつとめされる場合は、使用冥加金を申し受けます。

- 一周忌 — 平成十七年
- 三回忌 — 平成十六年
- 七回忌 — 平成十二年
- 十三回忌 — 平成六年
- 十七回忌 — 平成二年
- 二十五回忌 — 昭和五十七年
- 三十三回忌 — 昭和四十九年
- 五十回忌 — 昭和三十二年

新年にあたって



責任役員 小紙 文隆

お念仏相続のうちに平成十八年の新年をお迎えしお慶び申し上げます。このたび小樽別院は皆さまの尊いご懇念で、永年の願いでありましたご本堂が立派に修復され完成致しました。

私事で申し訳ありませんが、小生が縁あつて小樽別院にお参りさせていただくようになったのは、日曜学校の主任先生が月忌参りに来られ勧誘されてのこゝからで、以来今日までご縁をいただいております。今八十歳を超えてみると長いようで短いものです。

振り返るとご輪番をはじめ、

多くの方々に恵まれてご指導をいただきながら、戦前・戦中そして戦後と今日までいろいろな経験をしてきました。子どもの頃の想い出、先輩の顔、別院での勤行とご法話など忘れる事の出来ないことが沢山ありますが、同時に昔からの法友もだんだんと少なくなってきました。

このたび皆さまのご懇念により本堂の修復工事の完成をみて、先達のご恩に報いようとにも、有縁の皆さま方と共に私もその一人に加えさせて頂いた喜びを味わわせていただきました。向後も、お念仏の人生を共々に歩ませて頂くことを喜ばせて頂き、新年にあたってのご挨拶といたします。

「お寺のイロハ① おとき」

法事や葬儀の時などに「おとき」という言葉を耳にしたことはありませんか？今日では法事や葬儀の後にする食事という認識を持たれている方が大半だと思われます。

では語源はどこから来ているのでしょうか？そもそも仏教では心身を慎むために八種類の戒律があり、その中のひとつに昼を過ぎたら食事をとらないという戒律「非時食戒・ひじじきかい」があります。食事すべきでない時間が非時と呼ばれたのに対して、正しい時（正午）の食事は「齋食・さいじき」と呼ばれたそうです。そこから正しい時の

食事は「齋・とき」と呼ばれるようになったようです。ちなみに、料理の内容はもちろん精進料理で、お酒も呑みませんでした。法事や葬儀の折は生臭料理を避け、精進料理にするのが理想ですが、今日の食習慣から見れば、なかなかそれも難しくなりました。今の浄土真宗でのおときの意味合いは、仏事をつとめた後の会食のことを言うのですが、あくまで仏事が中心でありますから、亡き人を偲ばせていただくご縁を通して、お念仏のみ教えについてお互いに語りつつ会食することを心得ておきたいものです。

おみがきから 法要まで

報恩講編



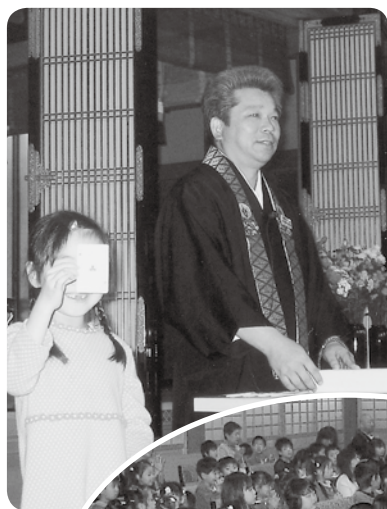
おみがき (仏婦・仏社)



おとぎの準備



お供物の用意



三園参拝



三園参拝
(小樽幼稚園・新光保育園・若竹保育所)



園児による献華

別院フォトクラブ



双葉高校参拝(音楽法要の献華)



双葉高校参拝



布教(ご法話)



法要参拝者



御俗姓拝読(輪番)



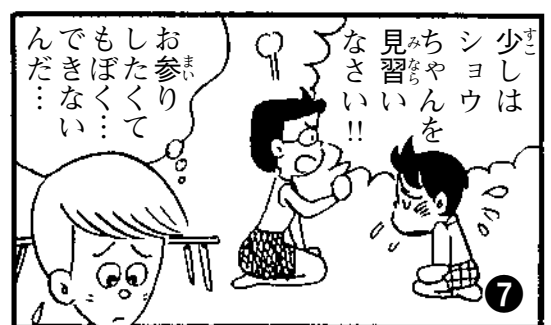
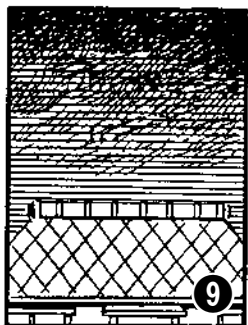
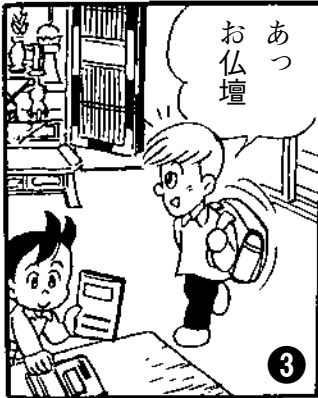
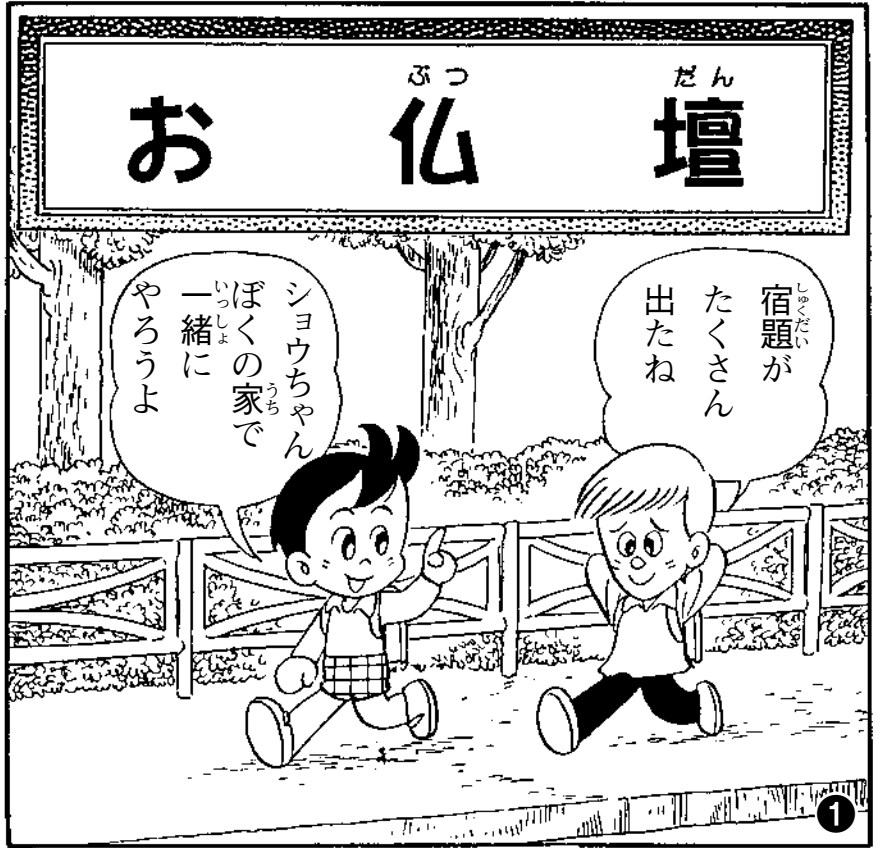
法要

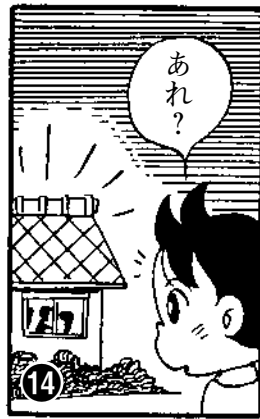


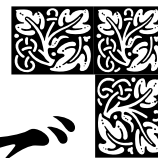
御伝鈔拝読



出勤のご法中

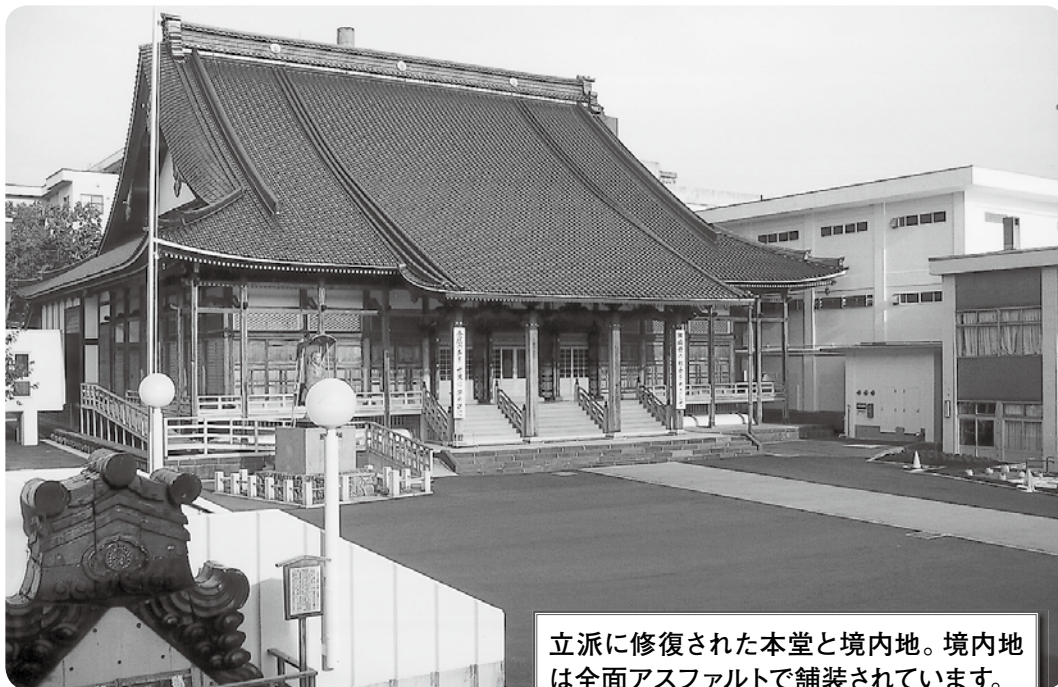






ご本堂修復通信

特集



立派に修復された本堂と境内地。境内地は全面アスファルトで舗装されています。



境内地を囲む新しい塀。白壁に瓦が葺かれています。



修復された鐘楼堂。掲示板は鐘楼堂の手前に移設されました。



本堂と正門。中央の参道は凍らないよう浸透性アスファルトで舗装されています。



新しい通用門。危険な国道側でなく市道側に設置されました。車イスでも、会館に入ることができます。



通用門の奥には、きれいなお庭が造られました。



無量寿閣納骨堂も化粧直しが施されました。又、内部も手を加えられ、カーペットも暖かな色合いのものに張り替えられました。天井の電気は、センサーにより自動で点灯・消灯します。



会館正面玄関。階段は全面ヒーティングになりました。



幼稚園の前には、緑豊かな芝生が植えられました。園児たちも安心して遊べます。

カーテン・カーペット各種

インテリア ふじはら

藤原 昇

小樽市奥沢3丁目22番9号
電話 小樽0134-23局-2803番

葬儀

株式会社 博禮社

〒047-0024 小樽市花園3-25-15
電話(代表)23-0246番
■24時間営業■

プロパンガス・灯油・重油・木炭

(有)南樽燃料商事

小樽市若松1丁目8番17号
TEL 22-8750・23-1007

別院門徒物故者（平成16年11月1日～平成17年10月31日現在）

本堂修復懇志新規進納者御芳名

●天井絵特別懇志

金六拾萬円

城本 キサ

小田 キヌ

八ツ井岩雄

藤野 アサ

安部 正昭

酢谷 剛

柏木 和子

安田 武

米脇 政彦

大澤 和義

本庄 スミ

石塚 芳男

瀧田 隆一

萬 勝治

秋本 惇子

名木 義憲

五十嵐仁司

甲斐 敏明

室谷 静子

藤田 博子

安部 健三

渡辺 キヨ

藤井 民子

下野八重子

岡 久夫

森 勉

木下 耕三

吉田 孝

倉重紀久男

黒川 房子

小林 ユキ

岩井 君

その他、分納にて多数の方々よりご進納頂いております。

●門徒懇志

金八拾萬円

河合 弘

金七拾萬円

北川 敏美

金六拾五萬円

堀 正勝

金六拾萬円

齊藤 芳子

岩丸 功

守山 一彦

瀧本 晃嗣

金五拾萬円

鈴木 計一

金四拾萬円

桜井紀美子

佐藤 裕子

高山 良行

山崎 信一

横山 雅義

●他門徒懇志

金五拾五萬円

城本 キサ

●崇敬寺院懇志

金四拾萬円

願乗寺（後志組）

金式拾萬円

真光寺（後志組）

●協賛懇志

金參萬円

久保 昭吉

（敬称略）

ご進納有難う

ございました。

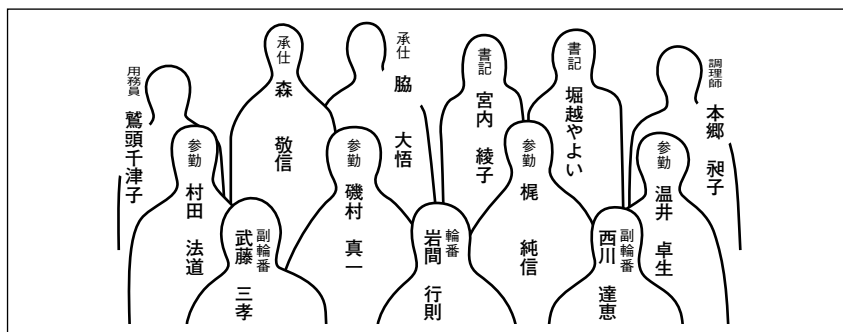
謹賀新年

本願寺小樽別院

責任役員 小紙 文隆
 総代 北川 紋二
 総代 竹田 栄治
 総代 長谷川 博俊
 総代 宮本 英子
 総代 福島 正紘
 総代 杉本 守巧
 総代 猪田 格一
 仏教壮年会々長 辻井 聡克



仏教婦人会々長 見楚谷光子
 仏教青年会々長 岡本智恵子
 小樽幼稚園職員
 園長 岩間 行則
 主任 中里 美果
 副主任 藤井 亜季
 教諭 本間 美樹



教諭 細田菜津子
 教諭 本 一恵
 バス運撃 澤田 修二
 バス運撃 伊藤 光行
 臨時役員 真鍋 智子
 臨時教諭(ならし保育) 川上 尚美
 臨時教諭(ならし保育) 鈴木登喜子

若竹保育所職員
 所長 青柳 順子
 主任保育士 金山 和枝
 保育士 嵯峨 久世
 保育士 谷藤久美子
 保育士 義川 潔美
 保育士 工藤 里江
 調理師 中田美津江
 臨時役員 厚谷 美樹
 臨時役員 野田 弘子
 臨時役員 田中 敬子
 園長 武藤 三孝
 主任保育士 川口美由紀
 保育士 関谷 育子
 保育士 栗原 恭子
 保育士 小田桐景子
 保育士 若杉 倫子
 保育士 下山 由果
 保育士 知本 美保
 小林由貴子
 小笠原典子
 赤坂加奈美
 石上 恵理
 増田 知江
 齊藤智恵子
 柿澤 里和
 鈴木 雅恵
 芦谷 美樹
 藤崎 愛子
 長南 文子

ご案内

常例布教

毎月7日～11日 午後1時30分
 13日～16日 午後1時30分

お 晨 朝

毎日 午前6時30分

仏教婦人会

毎月15日 正午(おとときあり)

仏教壮年会

毎月6日 午後7時

おつとめ教室

毎月2回(火曜日) 午後2時

仏教がやがや会

毎月15日 午後7時

日曜仏教講座

毎月1回(第3日曜日)
 午前9時30分

お講の例会

- 樹心会 5日 午後7時 於 奥沢説教所
- 唯信講 10日 正 午 於 奥沢説教所
- 彰心会 7日 午後7時 於 若竹説教所
- 無量講 9日 午後6時 於 小樽別院
- 法友会 13日 午後6時 於 新光説教所

十 九 日 講

毎月19日 正午(おとときあり)

3分間の心のともしび

小樽別院

テレホン法話

24時間
いつでも
どうぞ

TEL 27-1616



穴があきました

綴って保管していただくための便利な穴をあけました。

みんな

小樽幼稚園

仲良し



～まこと(いのち)の保育を行っています～



当園では、浄土真宗のみ教えに基づき「いのちの大切さ」「自然への感謝」「やさしい心」を育てる保育に努めています。

又、お絵かきや工作などのクラスでの活動の他に、プール遊びや、週に2・3回クラス合同のホールでのリズム遊びなどを通し、異年齢の交流を深めており、年長から年少までみんな仲良く遊んでいます。

是非一度見学にお越し下さい。(年中見学可能です。)

☆**保育時間**→月曜日～金曜日(夏期 8:30～14:00／冬期 8:30～13:30)

☆**昼食**→お弁当～週3回／給食～週2回(パン食／米食)

☆**預り保育**→月曜日～金曜日(17:30迄)行います。
(15:00迄は無料です／降園バス有)

☆**プール遊び**→年間を通して、週1回温水プール遊びを行っています。

☆**英会話**→月2回年長のみ行います。

☆**送迎バス**→ご希望の方は、ご自宅付近まで送迎致します。

☆**主な行事**→花まつり・降誕会・運動会・お泊り会・親子遠足・いも掘り・バス遠足・報恩講・お遊戯会・おもちつきなど。

☆**プレ保育**→2歳児対象で、火曜日又は木曜日の10:00～12:00。
週に1回幼稚園に来て、先生やお友達と楽しく遊びます。
詳しくは入園願書をご覧下さい。

園児募集

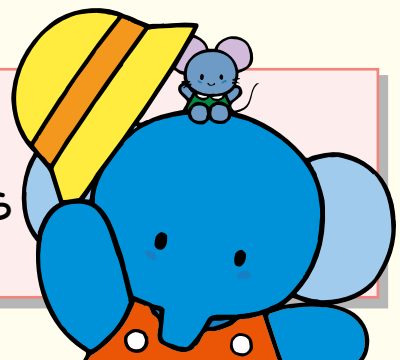
途中入園可能

募集
園児

3歳児(3年保育)	30名
4歳児(2年保育)	40名
5歳児(1年保育)	10名

願書
受付

平成17年11月初めから
現在受付中です。



学校法人 小樽龍谷学園

小樽市若松1丁目4番17号

小樽幼稚園 TEL FAX **0134-22-6536**